

(様式1)

平成31年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 019	提案機関名 神奈川県いちご組合連合会
要望問題 寒川浄水場発生浄水ケーキおよびさがみ粒土代替いちご培土（全農扱い）の栽培に適した使用方法について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 いちご育苗培土として広く使用されていた「さがみ粒土」が、平成30年より山北チップ工業㈱の事業撤退に伴い、全農としても取り扱いの中止が決定した。それにより、現在複数のいちご育苗培土が市販されているが、さがみ粒土と同じ価格帯の培土は無いに等しい状況です。そんな中、これまで流通していない企業庁寒川浄水場から発生する浄水ケーキが、今までのさがみ粒土同様に使用出来るのではないかと期待されている。また、全農から代替案として提案された「いちご育苗培土」は、神奈川県では現在あまり流通していない培土のため、合わせて、さがみ粒土に代わる新しい培土として使用できるか試験栽培を実施して頂き、神奈川県での栽培方法にあった使用方法等についてご指導頂きたくご依頼申し上げます。	
解決希望年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部野菜作物研究課 生産環境部土壌環境研究課
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 2 消費者ニーズに応える高品質・安定生産技術の開発 (1)野菜類の高品質・安定生産技術の開発 ア 野菜類の栽培法の確立			
対応の内容等 寒川浄水場から発生する浄水ケーキの利用を中心に、イチゴ育苗期の利用について栽培試験（野菜作物研究課で実施）、理化学的特性の分析（土壌環境研究課で対応）を行い、培土の特性と育苗利用上の留意点等を明らかにします。			
解決予定年限	<input checked="" type="checkbox"/> ①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			